

○ 9月議会のチェックポイント

今回もたくさんの議案が出されていますが、最も重要な案件は何と言っても岩槻合併に関する正式な議会の意思が問われる配置分合議案でしょう。そのほかにも気になるポイントがあります。ぜひ皆様の目でもチェックしてください。

1 岩槻合併に関する配置分合議案

総務委員会での審議を経た後、10/13 の最終日に全体の採決。高木は、住民投票を含む広範な市民意向調査が行われないままの合併には賛成できないので、反対の意向。

2 決算委員会での各種審議

これまで閉会中審査であったが、今年の改革を受け、9月議会中に実施。予算委員会同様、一問一答形式の為、白熱した審議が期待できる。平成15年度の市政全般を評価し、これからの行政に生かすための掘り下げた質疑としたい。

3 年輪荘をめぐる指定管理者制度の考え方

今年度から取り入れられている指定管理者制度であるが、今回年輪荘では、現職市議会議員氏が代表を務める団体が指定されていることで問題に。現行の条例では問題ないが、指定管理者の決定にあたっては、市職員が合議でこれにあたっており、秘密会で情報公開もないことから、現職市議や市長が代表を務める団体にノーを出しにくいのは人情ではないかと思われ、今後の条例並びに制度運用の改正を話し合っていきたい。

4 報酬問題

市長から、自らの退職金の減額と報酬減額の期限延長の議案が出されている。賛成である。議員報酬については、私自身は、減額条例の期限が見直しにあたる来年3月に運動の山を持っていくのが望ましいと考えていたが、今回、共産党さんの動きがあるやに聞いている。具体的な議案に基づき、判断を行いたい。